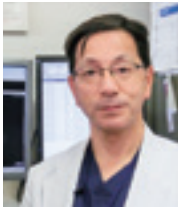
教えて！市立病院

〈第 116 回〉

下肢静脈瘤について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450



【今月のドクター】
副院長兼
心臓血管外科長
佐藤 洋一 医師

下肢※（特に下腿※に多い）に、ぼこぼこに曲がって膨れ上がった血管を認める病気が下肢静脈瘤です。まだ軽いうちは症状がありませんが、何かしら症状が出てきたら早めに治療を行いましょう。

原因のほとんどは、皮下脂肪に埋まって走行している皮下静脈にある薄い膜状の２枚の弁が壊れてうまく閉じなくなることで、足から心臓に向かう一方通行の血流が足の方に逆流して下腿に静脈血が溜まる状態が続くことです。長い年月をかけて、皮下静脈が膨れて曲がってきます。

症状は、下肢がだるい、疲れやすい、浮腫む、痙攣する、火照る、痛い、痒いなどです。よく聞くと症状はあるのですが、特に困らないため無症状だと思い込んでいる患者さんも多いです。そのまま放置して病気が進行すると、皮膚に炎症を起こして赤くなる、もしくは皮下静脈に炎症を起こして血栓で閉塞してしまいます。そうなると治療が難しくなります。

ほとんどの場合、局所麻酔下にレーザーで逆流した皮下静脈を焼く手術で治療可能ですが、炎症を起こす、もしくは皮下静脈が太くなりすぎると、ワイヤーで逆流した皮下静脈を引っ張り抜く手術が必要です。レーザーの手術は、片脚 40 分ほどで、２泊３日の入院となります。

下肢静脈瘤があり、少しでも症状に当てはまる人は、紹介状を持って当科の静脈瘤外来（金曜日午前中）を一度受診してください。

※下肢：足。脚部。
※下腿：ひざから足首までの部分。

次号より「教えて！市立病院」のコラムで、11 月開院予定の新しい米沢市立病院の情報をお伝えしていきます。